

第 17 回入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和 6 年 8 月 2 日（金）豊田講堂 3 階特別会議室	
委員	委員長 加藤 倫子（弁護士） 委員 山田 順（公認会計士） 委員 笠野 寿治（不動産鑑定士） （下記委員は欠席） 委員 角間 洋二郎（東海国立大学機構監事）	
審議対象期間	令和 5 年 5 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 3 1 日	
抽出案件（合計）	26 件	（備考）
工事（小計）	18 件	今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。 <抽出案件> 名古屋大学 7 件 静岡大学 3 件 浜松医科大学 3 件 三重大学 3 件 岐阜大学 3 件 豊橋技術科学大学 3 件 愛知教育大学 2 件 名古屋工業大学 2 件 合計 26 件
一般競争入札（政府調達に関する協定対象工事）	0 件	
一般競争入札（上記を除く）	16 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	2 件	
設計・コンサルティング業務（小計）	8 件	
公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式	2 件	
簡易公募型プロポーザル方式（拡大）	4 件	
標準型プロポーザル方式	0 件	
一般競争入札	2 件	
随意契約	件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	別紙のとおり	

別紙

議事の進行及び委員からの質問	回 答
<p>1. 工事及び設計・コンサルティング業務の審議対象案件の抽出結果について</p>	<p>(担当委員、庶務担当事務より説明) 今年度の審議対象案件の抽出については、建設工事及び設計コンサルティング一覧表から、金額上位 50%及び総案件数に応じて算出した件数毎に抽出した案件に加え、担当委員が審査すべきと判断した案件を指定案件とした旨を説明した。</p>
<p>2. 各大学において発注した建設工事及び設計・コンサルティング業務について</p>	<p>審議対象案件の抽出と併せて担当委員、庶務担当事務より説明した。</p>
<p>3. 建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度からの改正点があれば説明いただきたい。 ・委員にも事前にお目通ししてもらっているが、質問等はあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設統括部より特に改正点はないとのこと。 ・委員からの質問もなし。
<p>5. 再苦情処理会議への申立状況について</p>	<p>資料7に基づき再苦情処理については申立がなかった旨の報告を行った。</p>
<p>4. 指名停止等の措置状況について (名古屋大学)</p>	<p>該当があり、資料6に基づき、報告を行った。</p>
<p>6. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 (名古屋大学)</p> <p>【指定案件】 (1) 工事 一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事を除く)</p> <p>【(東山) 教育学部本館空調設備改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加している6者の業者が、落札業者以外が予定価格超過になっている理由を説明いただきたい。また、落札率が高い事情を説明していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格を算出するにあたり、各仕様に対してメーカーから、見積書を徴して、年度毎に市場調査を実施し、積算するための査定率を算定している。その査定率を掛けた上で労務費等の積算をし、工事規模から、その価格が適正か確認し、予定価格を算出している。予定価格が5977万円で、6者から入札があったが、1億を超える会社もあれば、少しだけ予定価格を超えた会社もあり、本学の積算を頑張り過ぎたかもしれない。高い落札率だが、結果として、落札しているのも、市場に即した積算ができたことと認識している。今回の入札結果も踏まえて、空調設備の査定率にも反映させて、市場に追随した積算が可能な様に調整している。 ・年度毎に市場調査を実施し、予定価格積算のための査定率を算定している。予定価格算出の際には、その工事規模も考慮し、価格が適正か確認している。

<p>【審議案件】 (1) 工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は6者から入札があったが、5977万円の予定価格に対して1億を超える会社もあったため、積算を頑張り過ぎた可能性もあるが、結果として落札しているため、市場に即した積算であったと認識している。 ・工事の結果は今年度の空調設備の査定率に反映しており、市場に追随した積算が可能となるよう調整している。
<p>【（医病）病棟等ナースコール設備改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者入札である理由を説明願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院のナースコール設備は、取り扱うメーカーが非常に少なく得意な業者で、かつ施工条件として病院の新営等に伴うナースコールの実績を求めているため、参加業者が少ない傾向がある。
<p>【（東山）全学教育棟電灯設備改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札価格調査について、御説明いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手持ち工事で附属病院の案件を持っており、共用で使用可能な機材があり、以前から協力関係にある下請け業者の協力で安く入札することが可能だった。
<p>【（東山）北部厚生会館とりこわしその他工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札価格調査について、御説明いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価値と組み合わせて、その中で、一番高い点数を取った業者と契約した。名古屋大学と共通の基準である過去に施工した文科省関係の他大学の工事成績評定で、高い評価点を得ており、工事品質の確保も十分可能である。
<p>(1) 工事 随意契約方式</p> <p>【名古屋大学（東山）ITbM3階305号室他修繕工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITbMで発生した火災により損傷した床・壁・天井等の内装復旧工事という案件だが、内容と経緯を説明願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ITbMで令和5年7月に発生した火災からの復旧工事。ITbMの建物では最先端の研究を行っており、建物を早急に復旧して研究可能としなければ、大学に重大な損失をもたらす恐れがあり、緊急の必要により競争に付すことができないとして、随意契約で、床・壁・天井等の内装復旧工事を行った。当時、東山キャンパス内で工事を行っていた工事業者2者に見積書を徴して契約した。
<p>【審議案件】 (2) 設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式（拡大）</p>	
<p>【（東山）工学部9号館改修設計業務】</p>	

<p>・1者入札になった理由を説明願いたい。</p>	<p>・人手不足で、改修工事で、設計業者に、声を掛けても、捕まえる事が難しく、参加条件を緩和して、何とか1者来てくれたという状態である。</p>
<p>【指定案件】 一般競争入札方式</p> <p>【（東山他）基幹・環境整備（受変電設備等Ⅱ期）設計業務】</p> <p>・1者入札であり、落札率が100%と高い事情を説明願いたい。</p> <p>・設計額については、随時、単価を見直し、可能ならば、技術評価に加点ポイント等を設定する等、新規の業者も参加可能になれば、より良い競争になって質の向上に繋がると思うので、発注者側で工夫していただきたい。</p>	<p>・一度入札公告を出して、参加者がいなくて不調に終わり、再公告を出して、1者参加となった。競争入札方式も採用し、簡素化はしたが、結果として、参加者は、1者だった。</p> <p>・公告をしたが、参加者がなく不調となった。</p> <p>・再公告の際に、一般競争入札として簡素化を図ったが、結果として1者の参加者となった。</p>
<p>4. 指名停止等の措置状況について（静岡大学）</p>	
<p></p>	<p>該当があり、資料6に基づき、報告を行った。</p>
<p>7-1. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議（静岡大学）</p> <p>【審議案件】 （1）工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p> <p>【（城北）工学部5号館外壁改修その他工事】</p> <p>・契約額が低価格調査基準価格を大幅に下回っている事情を説明していただきたい。</p> <p>・評価点が配置予定技術者の配置実績が無い会社が多いが、そういうケースが多いのか。それによって、工事の質が落ちるような事はないのか。</p> <p>【指定案件】 （1）工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p> <p>【（城北）集積化センサ設計評価オープンラボ棟新営その他工事】</p> <p>・入札金額が予定価格の範囲内にならなかった原因をどのように考えているのか。工期が影響しているのではないか。</p> <p>【審議案件】 （2）設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式</p> <p>【（城北）集積化センサ設計評価オープンラボ棟新営その他設計業務】</p>	<p>・近隣の工事現場で使用した足場材が当該工事に転用できることで、コスト削減を図ることができたためである。</p> <p>・技術者不足や働き方改革の影響もあり、評価点を有しない配置予定技術者で申請するケースも多い。ただし、県や市発注工事の実績はあるため、工事の質が落ちることは生じていない。</p> <p>・近年、人件費や資材の価格変動が激しいこともあり、積算と入札執行の時間差が金額の差異に繋がったものと考えられる。工期は制約範囲で適正な設定となるように努めているが、工期が影響している可能性もある。</p>

<p>・技術提案書の実施方針の環境配慮に関する課題で、提案した3社の間で、差がついている。配点も高いが、どういうものなのか。</p>	<p>・大学が取り組むカーボンニュートラルの実現化に向けて、環境配慮に関する課題の配点を高く設定している。評価は具体性や実現性を審査した結果、差異が生じた。</p>
<p>4. 指名停止等の措置状況について（浜松医科大学）</p>	
	<p>該当なし</p>
<p>7-2. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議（浜松医科大学）</p>	
<p>【指定案件】</p>	
<p>（1）工事</p>	
<p>一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p>	
<p>【医学部附属病院病棟照明設備改修工事】</p>	
<p>・契約額が低価格調査基準価格を大幅に下回っている事情を説明していただきたい。</p>	<p>・業者にこの価格で入札した理由を確認したところ、これまでの施工実績および現在の手持ち工事に同種工事が多数あり、電気設備資材業者と長年にわたり良好な関係を築いていることから、市場価格より安価な材料仕入れが可能であるとの回答であった。過去の工事実績や経営状況等を確認した結果、適正な契約履行が可能と認められるため、この金額で契約した。</p>
<p>【審議案件】</p>	
<p>（1）工事</p>	
<p>一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p>	
<p>【神経機能分子解析施設新営工事】</p>	
<p>予定価と落札価格が、かなり近いが、原因を把握しているか。</p>	<p>この工事案件の前に、不落随契で、本案件の契約業者が契約した工事案件があり、推測だが、契約業者が不落随契の契約金額を参考にして、入札して来たと認識している。</p>
<p>（2）設計・コンサルティング業務</p>	
<p>簡易公募型プロポーザル方式</p>	
<p>【ホスピタル・ラボ新営設計業務】</p>	
<p>・特定事業者にて特定された後に、見積合わせに4回を要した点について、資材費、人件費の高騰、働き方改革の2024年問題等で、残業規制も厳しくなっており、業者に負担が大きくなっているため、価格の齟齬が発生すると思われる。予定価を積算する際に配慮していただきたい。</p>	<p>・了解しました。</p>
<p>4. 指名停止等の措置状況について（三重大学）</p>	
	<p>該当なし</p>
<p>7-3. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議（三重大学）</p>	
<p>【指定案件】</p>	
<p>（1）工事</p>	
<p>一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p>	

<p>【(医)看護学科棟4階基礎看護実習室等空調設備改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約額が低価格調査基準価格を下回っている事情を説明していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の品質は確保可能という事を確認しており、過去にも三重大学での工事実績もあったので、工事会社の信頼度もあり、施工可能と判断している。直接工事費について機器の金額等に関きがあり、事情聴取したところ、他の工事案件とあわせて、集中購買を行い、通常の購入価格を下げた点と、工期を1.9か月見込んでいたものを1月足らずで、工期で積算しており、それに伴う経費も下がった。
<p>【審議案件】 (1) 工事 随意契約方式</p>	
<p>【(上浜)クラブハウス改修その他工事(設計変更)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既に契約した随意契約について、変更契約ということで、契約の相手方は1者になるわけですね。 <p>(2) 設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式(拡大)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に契約した工事が令和5年9月29日完成する予定であったが、当初計画から除外していた建物周辺の外構工事を追加するものです。
<p>【(高野尾等)研究棟等新営その他設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修にあたって、ネットゼロエネルギービルディングを導入しているが、具体的にはどういうことか。 ・環境配慮の面で、ネットゼロを目指し、環境負荷を減らすとして、技術評価提案書の配点にもされているのは、良い取組だと思う。その項目で高い行動と捉えた所を評価できれば良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ZEBとは省エネによって建物で消費するエネルギー量を小さくしたり、創エネによってエネルギーをつくりだすことで、年間のエネルギー消費量を実質ゼロに近づけた建物のことです。例えば太陽光発電設備による発電などが創エネに当たります。
<p>4. 指名停止等の措置状況について(岐阜大学)</p>	
	<p>指名停止等の措置状況については、東海国立大学機構として行うことになっており、名古屋大学から報告済みである。</p>
<p>7-4. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議(岐阜大学)</p>	
<p>【審議案件】 (1) 工事 一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事を除く)</p>	
<p>【(医病)中央監視制御設備改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に1社、応募してきたのが、1社で問題がなければ、決まるのだが。 ・1社しかなければ、随契でもできそうな気がするが。 	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの改修であるため、元々入れているシステムのメーカーが強くなるため、結果的に1者の参加となった。 ・他の業者もメーカーを下請けにすれば、契約することが可能であるため、一般競争入札を実施している。
<p>【指定案件】 (1) 工事 一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事を除く)</p> <p>【(柳戸)医学部看護学科校舎(西棟)外部改修工事】</p>	

・契約額が低価格調査基準価格を大幅に下回っている事情を説明していただきたい。

【審議案件】

(2) 設計・コンサルティング業務
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)

【(柳戸)教育学部校舎(A棟)Ⅰ・Ⅱ期改修設計業務(設備)】

・なぜ1者入札となっているのか理由を説明していただきたい。

・本工事の大部分を占める外壁補修工事を協力業者に発注することなく元請け業者が自社施工を行うことで、コスト縮小となっている。

・元請け業者が外壁改修を専門としており、資材購入や協力会社との協力体制が整っているため、諸経費等のコスト削減ができており、市場価格より安く仕入れることが可能となっている。

・元請け業者が直近で別の工事を受注しており、併せて資材購入をすることで、通常よりも安価に資材を購入できる。

・設備設計業務を受注可能な業者は岐阜市周辺では少ない。全国規模で公募をして声掛けしても人手がないと理由で断られ、業者を探すことに難航しており、今回も結果的に1者の参加となった。

7-5. 建設工事における抽出案件の審議(豊橋技術科学大学)

【審議案件】

(1) 工事

一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事を除く)

【集積化センサプロセス開発オープンラボ棟新営機械設備工事(再公告)】

・再公告した経緯を説明願いたい。一覧表を見ると、再公告が、結構あるが、理由を説明して欲しい。

・最初は、不落で終わり、仕様等を見直して、2回目の入札時に再公告という形にしたものである。今回は業者にヒアリングを実施し、工事内容を見直して再公告時の予定価格自体は下げる事ができ、契約することができた。

【指定案件】

(1) 工事

一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事を除く)

【集積化センサプロセス開発オープンラボ棟新営その他工事(再公告)】

・不落となり、落札率が高くなった事情を説明していただきたい。

・競争参加者数は3社で2回目の入札時に2者が辞退、残り1者も予定価に届かず、随意契約の協議に移行し、3回目の見積合わせで予定価の範囲内になり契約した。

・各大学に共通したことだが、資材費や人件費が高騰し、大学側と業者の認識に齟齬がある事を感じる。今後発注額を決める場合は、事前にヒアリングを実施等しないと、不落随契が続く可能性がある。積算の設計に留意願いたい。

・年度の予算の枠の関係で問題があるのか。

・入札の段階ではあるが、内訳書を出してもらい、それを根拠として予定価格の開きについては、全国に確認して生かして行くように取り組んでいます。

・オープンラボと言うのが通常の予算ではなく、プロジェクト的な地域中核の関係で出てきた予算で、全国で予算がついて、令和6年1月頃に契約が集中して、業者の取り合いになり、他大学の方を受

<p>【審議案件】 (2) 設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式 (拡大)</p>	<p>注したので、辞退という例があり、入札が不調になり、3月に度再公告して契約した経緯がある。</p>
<p>【集積化センサプロセス開発オープンラボ棟設計業務】 ・技術提案については、技術や実績等あっても環境配慮型の提案が優れていると、その方が特定されやすいのか。</p>	<p>・文科省の方もそういう方向性を重視しており、文科省の配点表を参考にして、設定している。</p>
<p>4. 指名停止等の措置状況について (愛知教育大学)</p>	
	<p>該当なし。</p>
<p>7-6. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 (愛知教育大学)</p>	
<p>【審議案件】 (1) 工事 一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事を除く)</p>	
<p>【(井ヶ谷) 総合研究棟 (特別支援教育系) 等改修その他工事】</p>	
<p>・全面改修工事であると、受注可能な参加業者が集めるのは大変ではないのか。契約7月で納期2月であるのは、厳しいのではないのか。</p>	<p>・年度末までの予算なので、1回不調になったとしても、間に合うような工程を基にシミュレーションし、1者入札ながら、1回で契約することができた。</p>
<p>【(大幸) 基幹・環境整備 (受変電設備) 工事】 ・特になし</p>	
<p>4. 指名停止等の措置状況について (名古屋工業大学)</p>	
	<p>該当なし。</p>
<p>7-7. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 (名古屋工業大学)</p>	
<p>【審議案件】 (1) 工事 一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事を除く)</p>	
<p>【本部棟改修電気設備工事】</p>	
<p>・契約額が低価格調査基準価格を下回っている事情を説明していただきたい。</p> <p>・低入札価格調査の経営状況の項目について、「公表しない」という表記になっているが、経営状況を示す計算書等を公表しなければ、「問題なし」と表記する表記にした方が望ましいのではないのか。</p>	<p>・長年の単独取引を行う業者との協力関係から、近隣の手持工事と機器類を併合購入することにより、通常より安価に仕入れることができたため基準価格を下回る価格となった。</p> <p>・当然、調査段階で計算書等に問題がないことは確認している。</p> <p>・今後の調査では「問題なし」と表記する。</p>
<p>(2) 設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式 (拡大)</p>	

【本部棟改修設計業務（Ⅱ期）（建築・設備）】

・設計業務の低入札価格調査の基準となる最低基準価格及び落札率が低いことの懸念について、説明していただきたい。

【監査室からの連絡】

来年度の委員会日程について

・令和6年度と同じく、8月上旬（8月1日（金）～8月8日（金））の開催を予定することについて、委員から特に異議なし

・本学では設計業務は「役務」であり、学内規則により低入札調査の対象となっており、その基準とする範囲も規定されている。今回もその範囲内の最低基準価格としている。

・工事に対して、設計業務は成果物の提出後の修正等が比較的容易なことから、契約金額が低くても懸念はない。